

PTA生成AI活用 実務研修

— PTA活動の効率化と、
子どもの学びを支えるAIリテラシー —



若杉 祥太（大阪教育大学大学院）



PTA活動を
もっと効率的に



学校教育の今を
知る



子どもの未来のために
AIを正しく理解する



PTAあるある — こんな仕事に時間を使っていませんか？

PTAの活動では、次のような業務に多くの時間と労力がかかることがあります。

01 案内・お知らせ作成



- 総会・委員会の案内文
- 保護者向けのお知らせ
- 行事の案内・チラシ作成

02 会議の準備・議事録



- 資料の作成・整理
- 会議の議事録作成
- 決定事項の共有

03 アンケートの作成・集計



- 質問内容の検討
- アンケートフォームの作成
- 結果の集計・分析

04 広報活動



- 広報誌の原稿作成
- SNS・ホームページ投稿
- 写真選定・キャプション作成

05 行事の企画・運営



- 企画案の作成
- スケジュール調整
- 関係者との連絡・調整

06 要望書・資料作成



- 学校への要望書作成
- 各種資料の作成・修正
- 文章の整理・校正



これらの業務は、
どれも大切ですが、
時間と労力がかかります。



生成AIを活用することで、これらの業務を効率化し、
より本質的な活動に時間を使うことができます。



どんな生成AIがあるのか

— ChatGPT・Gemini・Claude・Copilotなど、それぞれの特徴 —



ChatGPT

文章作成・要約・分析・画像など、幅広く使える汎用性の高いAI。



文章作成

要約

分析

画像生成



Gemini

Googleのサービスと親和性が高く、調査・生成・マルチモーダルに強いAI。



調査

資料作成

画像・動画

Google連携



Claude

文章・推論・分析に強く、長い資料の読解や整理が得意なAI。



長文の読解

要約・整理

分析

安全性重視



Copilot

Microsoft 365と連携し、Word・Excel・PowerPoint・Outlook・Teams等の作業を強力に支援。



資料作成

データ分析

メール作成

会議サポート



NotebookLM

自分が与えた資料を基に、要約・質問・整理・引用付きの確認がしやすいAI。



資料の要約

質問・整理

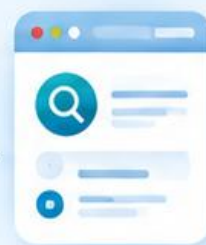
引用付き回答

学習支援



Perplexity

Web検索を基に、出典付きで情報収集・調査を進めやすいAI検索エンジン。



Web情報の検索

出典付き回答

最新情報

調査・リサーチ

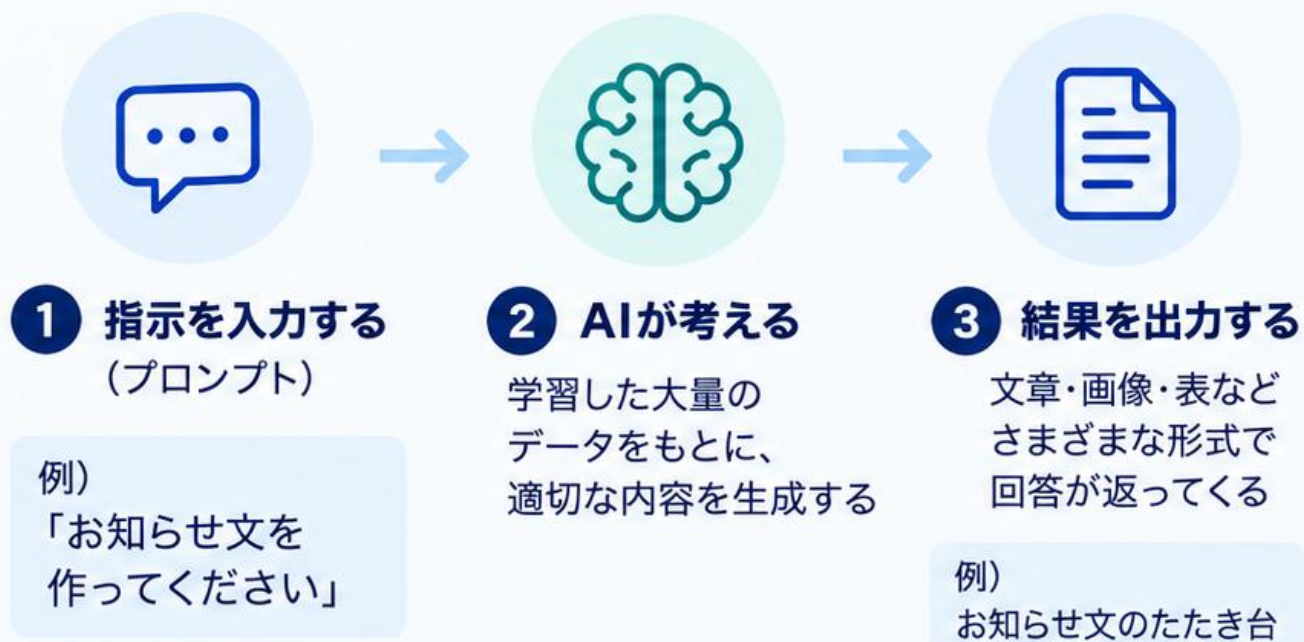


目的に合わせて使い分ける。1つの生成AIですべてを済ませる必要はありません。

そもそも生成AIとは何か

— 生成AIは、質問や指示（プロンプト）に対して、文章・画像・表・要約などの新しいコンテンツを作り出すAIです。

生成AIの基本的な仕組み



生成AIでできること(例)

	文章の作成	案内文・お知らせ・議事録の下書き など
	情報の整理・要約	長い資料の要点整理・比較表の作成 など
	アイデア出し	イベント企画・活動案・キャッチコピーの提案 など
	画像の作成	チラシ・ポスター用の画像・イラストの作成 など
	質問・相談	疑問点の調査・他校の事例の情報収集 など



生成AIは「答えを直接与える道具」ではなく、
私たちの**考える・調べる・作る**をサポートしてくれる**パートナー**です。

検索と生成AIは何が違うのか？

どちらも情報を得る手段ですが、情報の集め方・処理の仕組み・得られる情報の性質が異なります。



検索エンジン (Google など)



🌐 情報の集め方	インターネット上のWebページを検索する
📄 得られる情報	関連するWebページの一覧 (リンク)
🗄️ 情報の性質	実在する情報 (公開されている既知の情報)
⚙️ 得意なこと	最新情報の確認、公式情報の取得、複数の情報源の比較
💡 向いている場面	事実や最新のニュース、信頼できる情報源を確認したいとき



生成AI (ChatGPT・Gemini・Claude など)



🗄️ 情報の集め方	学習した大量の情報をもとに、質問に応じて内容を生成する
📄 得られる情報	要約・整理された回答 (1つの答え)
💡 情報の性質	既存の情報をもとに生成された新しい文章・アイデア
⚙️ 得意なこと	要約、文章作成、アイデアの提案、複雑な内容の整理
🎯 向いている場面	情報を整理してまとめたいとき、考えを深めたいとき、文章や企画を作成したいとき



検索は「情報を探す」、生成AIは「情報をまとめて作る」ものです。

生成AIは何が得意で、何が苦手なのか

生成AIはとても便利な道具ですが、できることとできないことがあります。特徴を理解して、適切に活用することが大切です。



生成AIが得意なこと



文章の作成・要約・整理



情報の整理・比較・分析の補助



アイデア出し・企画のヒント



画像・デザインの作成



定型的な作業の効率化



生成AIが苦手なこと



正確な事実の保証



人の気持ちや現場の状況の理解



最終的な判断・責任ある意思決定



最新情報の確実な取得



機密情報・個人情報の扱い



生成AIは「万能な代替者」ではなく、**私たちの業務を支えるパートナー**です。

生成AIは「答えを知っている」のではない

生成AIは、膨大なテキストから学習したパターンに基づいて、もっともらしい文章を生成する仕組みです。あらゆる事実を知っているわけではなく、常に正しいとは限りません。

1 学習する

(過去のテキストからパターンを学ぶ)



書籍・論文
Webページ
ニュース など

インターネット上の膨大な
テキストデータから、
言葉のつながりやパターンを
統計的に学習しています。

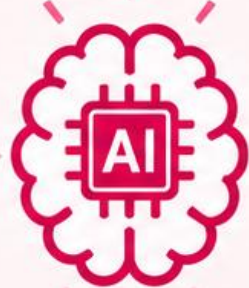
2 生成する

(次にくる言葉を予測して生成)

入力された質問

奈良県のPTAの
役割を教えてください

学習した
パターンから
次にくる言葉を
確率的に予測



もっともらしい
文章を
生成

3 回答を出力する

生成された回答 (例)



奈良県のPTAの役割は、
学校・家庭・地域が連携し、
子どもたちの健やかな成長を
支えることです。
具体的には・・・

実在する情報を検索しているのではなく、
学習したパターンに基づいて
もっともらしい文章を生成しています。



生成AIの回答は「**正しいとは限らない**」ことを理解し、**事実確認**や**情報源のチェック**が大切です。

国は生成AIを教育でどう捉えているのか

— 文部科学省のガイドラインと教育政策の方向性 —

文部科学省は、2024年12月26日に「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン Ver.2.0」を公表し、生成AIの利活用について、以下のような基本的な考え方を示しています。

学びの
可能性を、
もっと広げる。

1 人間中心の利活用

生成AIは、有用な道具になり得ますが、出力はあくまで参考の一つです。最後は**人が判断し、責任を持つ**ことが重要です。



人が判断し
責任を持つ

生成AIは
有用な道具

出力は
参考の一つ

2 情報活用能力の育成

生成AIの仕組み、利点・リスク、**情報モラル**を理解し、**各教科等の学びに生かす力**を育てることが重要です。



各教科等の学びに生かす力を育成

3 学校現場での適切な活用

教職員の校務では、**効率化・質の向上**が期待されます。児童生徒の学習では、**発達段階や教育目的を踏まえて**、適切な活用を検討します。

教職員の校務



- ✓ 業務の効率化
- ✓ 教材作成や事務作業の支援
- ✓ より質の高い教育活動につながることを期待

児童生徒の学習



- ✓ 発達段階を踏まえた活用
- ✓ 教育目的に応じた適切な場面での活用
- ✓ 学びの質の向上につなげる



一律禁止・一律義務付けではなく、**学校や地域の実態に応じた柔軟な運用**が望ましい。



現在地 (2026年10月1日時点)
ガイドラインの改定に向けた
検討が進行中です。



PTA・家庭への示唆

「使わせない／使わせる」の二択ではなく、**適切に使える力を育てる視点**が重要です。

GIGAスクールから生成AI時代へ

—「端末を使う」から「AIと学ぶ」へ—

GIGAスクール構想により、すべての児童生徒に1人1台端末と高速通信環境が整備され、学びの土台が大きく変わりました。その上で、今、生成AIの登場により、学びのあり方がさらに広がろうとしています。

AIと学ぶと、
もっとできるが
広がる！



GIGAスクール時代（～これまで）

1人1台端末を使って、学びの可能性を広げる

情報にアクセスする



- ✓ 調べる
- ✓ 資料を集める
- ✓ 情報を比較する

考えをまとめる



- ✓ 資料を作成する
- ✓ 考えを整理する
- ✓ 協働でまとめる

つながりを広げる



- ✓ 共有・協働する
- ✓ 遠くの人とつながる
- ✓ 学びの場を広げる



生成AI時代（これから）

AIを活用して、より深い学び・創造的な学びへ

考えを深める



- ✓ 疑問を広げる
- ✓ 多様な視点を得る
- ✓ 考えを整理・検証する

創造的に表現する



- ✓ アイデアを広げる
- ✓ 新しい表現を生み出す
- ✓ 個に応じた学びを進める

社会とつながる



- ✓ 社会の課題を考える
- ✓ AIを活用して解決策を探る
- ✓ 未来の社会を創る力を育てる



時代の変化に対応した
新たな教育の視点



AIは学びを支える
パートナーとして活用



情報を読み解き、
判断する力の育成



創造性・探究心など
人間ならではの力の重視



倫理的な視点と
適切に使う力の育成



GIGAスクールで整えた学びの基盤を生かし、これからは「AIと学ぶ」ことで、
より豊かな学びの実現を目指します。

子どもに必要なAIリテラシーとは

— 「使わせない」ではなく「適切に使える」へ —

生成AIは学びを広げる可能性がある一方で、注意すべき点もあります。
大切なのは、子どもが**正しく理解し、適切に活用できる力**を育てることです。

① AIを理解する力



- AIは必ずしも正しいとは限らない
- 得意なこと・苦手なことを知る

② 情報を見極める力



- 情報の出典や根拠を確かめる
- 複数の情報と比べて考える

③ 適切に活用する力



- 学びの目的に応じて使う
- 自分の考えと組み合わせる

④ ルール・倫理を守る力



- 個人情報や権利を守る
- 安全に責任をもって利用する



AIリテラシーは、これからの社会で必要な力です。学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが**安全にAIを活用できる力**を育てましょう。

PTA活動のどこで生成AIが使えるのか

生成AIは、資料作成・会議・アンケート・コミュニケーション・広報など、日々のPTA業務で活用できます。

1 アンケート・要望の整理



保護者アンケートや
要望の自由記述を整理し、
意見が見える化する

2 案内文・お知らせ作成



総会案内、行事のお知らせ、
協力依頼文などの
下書きを作る

3 会議メモ・議事録整理



会議メモから
決定事項・役割分担・
次回の課題を整理する

4 学校・保護者との連絡



学校向け説明文や
保護者向けメールを、
分かりやすく整える

5 広報誌・行事企画



広報誌の見出し案、
イベント企画案、
SNS告知文を考える



まずは「案内文」「議事録」「アンケート整理」など、
時間のかかる業務から使ってみると効果的です。

案内文・依頼文を“ゼロから書かない”

生成AIを使うと、PTAの案内文・依頼文を、目的や条件を伝えるだけで、たたき台を作ることができます。必要に応じて修正すれば、短時間で、わかりやすい文章を作成できます。

これまで（ゼロから作成）



- どんな書き出しにしよう…
- この表現で伝わるかな…
- 時間がかかる…

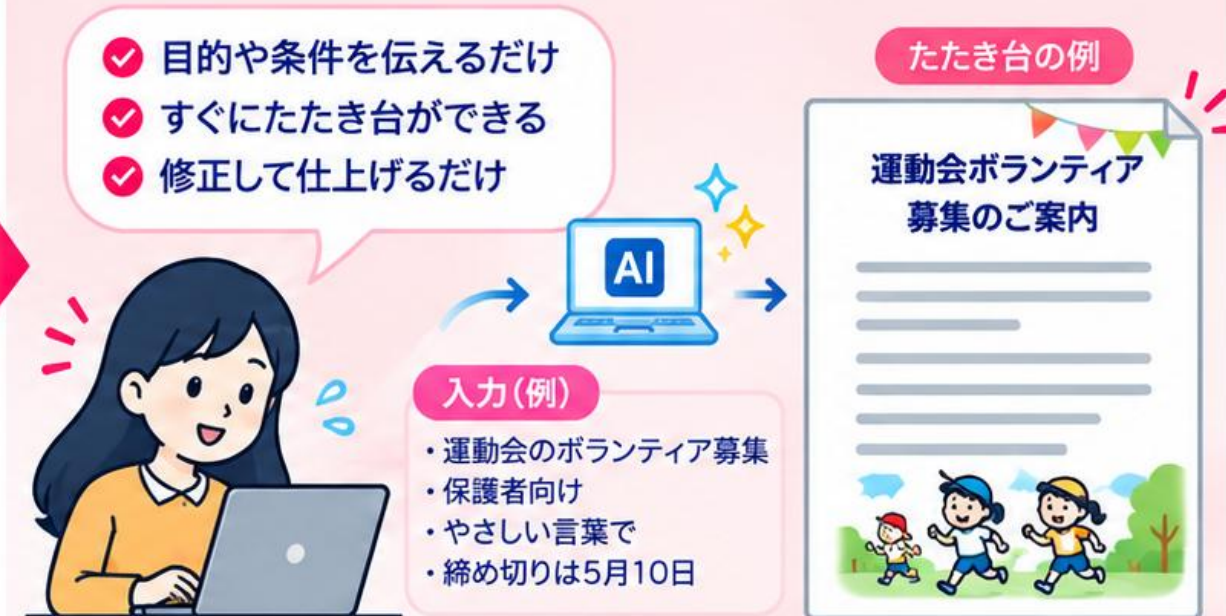
文章を考えるのが大変

時間がかかる

適切な表現か不安

お知らせ

生成AIを使うと（たたき台を作成）



- ✓ 目的や条件を伝えるだけ
- ✓ すぐにたたき台ができる
- ✓ 修正して仕上げるだけ

入力(例)

- 運動会のボランティア募集
- 保護者向け
- やさしい言葉で
- 締め切りは5月10日

たたく台の例

運動会ボランティア募集のご案内



生成AIを活用して、案内文・依頼文の作成を効率化し、
より伝わりやすい文章で、円滑なPTA活動につなげましょう。

同じ内容を相手に合わせて書き分ける

生成AIを使うと、同じ内容でも、相手の立場や目的に合わせて、言葉づかい・構成・強調するポイントを変えた文章を作成できます。メール、案内文、説明資料などを効率的につくることができます。



1 伝えたい内容を入力する

伝えたい要点を箇条書きで入力するだけ

- ✓ 学校のトイレの老朽化について
- ✓ 安全面・衛生面の観点から改修を要望
- ✓ 保護者・学校・教育委員会向けにそれぞれ文章を作成したい

生成AIに入力

学校のトイレの老朽化について、対象ごとに文章を作成してください。



2 相手に合わせた文章を生成する

相手の立場や目的に合わせて、最適な文章を自動で作成

保護者向け



お知らせ文 (例)

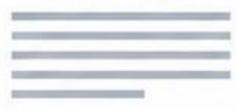


- ✓ やさしくわかりやすい
- ✓ 安心感のある表現
- ✓ 家庭向けの内容

学校向け



依頼文 (例)



- ✓ 丁寧に具体的な表現
- ✓ 業務に即した内容
- ✓ 必要な情報を整理

教育委員会向け



要望書 (例)



- ✓ 根拠を示した正式な文書
- ✓ データや事例を含む
- ✓ 政策・予算の視点

3 内容を確認・調整して活用する

生成された文章を確認・修正し、そのまま資料として活用

要望書 (教育委員会向け) の例



- ✓ PTAの実情に合わせて修正
- ✓ 最新のデータや事例を追加
- ✓ 提出先に応じて調整
- ✓ 説明資料としても作成可能



生成AIを活用して、同じ内容でも相手に合わせた表現や構成で書き分け、より伝わりやすく、説得力のある資料を作成しましょう。



議事録を「記録」から「意思決定資料」へ

生成AIを使うと、会議の内容を整理し、要点のまとめや今後の対応案まで作成できます。
記録だけで終わらず、次のアクションにつながる資料として活用できます。

これまで（記録としての議事録）

- ・発言内容をそのまま記録
- ・要点がわかりにくい
- ・結局、何をすることが不明確

議事録



生成AIを使うと（意思決定資料として活用）

- ・会議の要点を整理
- ・決まったこと・検討事項を明確化
- ・今後のアクション案まで提案



会議のまとめ

- ✓ 決まったこと
: _____
- 📄 検討事項
: _____
- ➡ 今後の対応案
: _____



生成AIを活用することで、議事録を「記録」で終わらせず、
次のアクションにつながる「意思決定資料」として活用できます。

企画・アイデア出しに生成AIを使う

生成AIを使うと、イベントや活動の企画案を素早く出したり、複数の視点からアイデアを広げたりできます。白紙の状態から考える負担が減り、より実現しやすい企画づくりができます。



1 目的や条件を伝える (プロンプト入力の場合)



小学校のPTAで、親子が一緒に楽しめる秋のイベントの企画案を5つ提案してください。

予算は5万円程度で、準備の負担が少なく、地域とのつながりも生まれる内容にしてください。

その他の条件例

- 開催時期 (10～11月)
- 参加対象 (児童・保護者・地域住民など)
- 目的 (交流・防災・環境学習 など)
- 会場の制約 (学校・校庭・体育館 など)

2 生成AIが企画案を提案



以下のような企画案を提案します。

- 親子で防災体験デー**
起震車・煙体験・防災クイズで楽しみながら学ぶ
50人程度
約4万円
- 秋の親子ウォークラリー**
学校周辺のチェックポイントを回り、地域を知る
50人程度
約3万円
- 親子でつくるリサイクル工作教室**
廃材を使って工作し、SDGsを学ぶ
30人程度
約2万円
- 地域の方と楽しむ昔遊び**
地域のシニアの方に協力いただき、昔遊びを体験
50人程度
約2万円
- 秋のミニ収穫祭・マルシェ**
地域の農家さんと連携し、収穫体験＋地元の食材紹介
50人程度
約4万円

3 比較・検討し、実現に向けて整理



提案された企画案を、実現可能性・効果・準備のしやすさなどの観点で比較し、最適な案を検討できます。

企画案の比較表(例)

企画名	効果 (交流・学び)	準備の しやすさ	費用 (概算)
① 親子で防災体験デー	◎	○	約4万円
② 秋の親子ウォークラリー	◎	◎	約3万円
③ リサイクル工作教室	○	◎	約2万円
④ 昔遊び	○	○	約2万円
⑤ 収穫祭・マルシェ	◎	△	約4万円

実現に向けた次のステップ (AIの提案例)

- ✓ 選んだ企画の詳細な実施計画を作成する
- ✓ 必要な準備物・役割分担のリストを作成する
- ✓ 地域の協力先への依頼文 (メールのたたき台) を作成する
- ✓ 保護者向けのお知らせ文を作成する
- ✓ 当日のタイムスケジュールを作成する



生成AIを活用して、企画やアイデア出しの負担を減らし、
子どもたちにとって魅力的で実現可能なPTA活動をつくりましょう。



要望書・意見書・説明資料のたたき台をつくる

生成AIを使うと、要望の内容を整理し、根拠や事例を踏まえたたたき台を短時間で作成できます。

その後、PTAの実情に合わせて修正・加筆し、説得力のある資料として活用できます。

1 要望の内容を整理する

現状の課題や要望を、
生成AIに整理してもらう



- ✓ どのような課題があるか
- ✓ 何を要望したいか
- ✓ 対象はどこか
(学校・教育委員会・自治体など)
- ✓ 根拠や事例はあるか



漠然とした考えでも、
AIが質問しながら整理してくれます。

2 生成AIでたたき台を作成する

整理した要望をもとに、AIが
構成案・本文・図表を作成する



要望書(たたき台)



要望の構成案

根拠となる
データ・事例

わかりやすい
文章表現

図表や箇条書き



AIがたたき台を作成することで、
短時間で形にすることができます。

3 確認・修正し、正式な資料にする

PTAの実情に合わせて修正・加筆し、
説得力のある正式な資料に仕上げる

要望書(正式版)



- ✓ PTAの実情に合わせて修正
- ✓ 最新のデータや事例を追加
- ✓ 提出先に応じて調整
- ✓ 説明資料としても作成可能



AIのたたき台をもとに、PTAの視点で
加筆・修正し、完成度の高い資料にできます。



生成AIを活用して、要望書・意見書・説明資料の作成を効率化し、
子どもたちのより良い学びの環境づくりにつなげましょう。



広報・SNS・チラシづくりに生成AIを使う

生成AIを使うと、文章・画像のたたき台を短時間で作成できます。アイデア出しや表現の工夫がしやすくなり、見やすく伝わる広報物づくりがスムーズになります。

1 伝えたい内容を入力

入力例

小学校の運動会のお知らせを、家庭向けにやさしく、親しみやすい文章で作成してください。



2 文章・画像のたたき台が完成

文章の例

今年も運動会を開催します！
子どもたちが一生懸命練習してきた成果を、ぜひご覧ください。

日時：5月25日(土)
9:00～12:00
場所：〇〇小学校 校庭

皆さまの応援を
よろしくお願いします！

画像の例



3 SNS投稿やチラシに活用

SNS投稿例



チラシ例



生成AIを活用して、広報・SNS・チラシづくりを効率化し、
より多くの保護者や地域に、わかりやすく魅力的に届けましょう。



アンケートを整理・分析する

生成AIを使うと、アンケート結果の整理や集計、自由記述の分析を効率的に行うことができます。
結果をわかりやすくまとめ、今後の活動の検討に活用できます。

1 結果を読み込ませる

Googleフォームの結果 (CSV)
などを読み込ませるだけ



2 集計・分析・要約

集計表の作成、傾向の分析、
自由記述の要約を自動で行う



3 報告資料に活用する

グラフや要点をまとめた資料を作成し、
役員会や保護者への報告に活用



生成AIを活用して、アンケート結果をわかりやすく整理・分析し、
子どもたちのより良い学びと活動につなげましょう。

悪い指示と良い指示 — AIの答えはここまで変わる

例1: PTAイベント企画

❌ 悪い指示 (あいまい)



PTAのイベントの
企画を考えてください。

AIの回答 (例)

- 親子で楽しめるイベント
- 地域との交流イベント
- 講演会の開催

→ 一般的で、そのままでは使いにくい

◎ 良い指示 (条件を具体化)



小学校のPTAで、親子と一緒に楽しめる
秋のイベントを**5つ**提案してください。
10~11月に実施でき、予算は**5万円程度**。
準備の負担が少なく、地域とのつながりも生まれる
企画にしてください。表形式で、目的・内容・対象・
予算・準備物を示してください。

AIの回答 (例)

企画名	目的	内容 (概要)	対象	予算 (目安)	準備物 (例)
親子ウォークラリー	交流	学校周辺を巡る クイズラリー	全学年	約3万円	地図・問題用紙 景品 など
防災体験会	学び	消防・防災の 体験コーナー	全学年	約4万円	体験資材 掲示物 など
科学ワークショップ	興味関心	身近な科学の 実験教室	中学年~	約5万円	実験キット テーブル など

→ 条件に合った、検討しやすい案になる



ポイント:

目的・対象・時期・予算などの条件を入れると、AIの答えはぐっと実用的になる。

悪い指示と良い指示 – AIの答えはここまで変わる

例2: 保護者向け案内文

× 悪い指示 (目的が曖昧)



保護者向けのお知らせ文を作ってください。

AIの回答 (例)

- あいさつ文
- ご協力をお願い
- 参加の呼びかけ

→ 一般的で、すぐには使えない

◎ 良い指示 (相手・目的・情報を指定)



小学校の保護者向けに、秋の親子イベント(10月12日開催)の案内文を作成してください。目的は地域との交流です。日時・場所・内容・申込方法・締切・持ち物・問い合わせ先を含め、親しみやすく丁寧な文体で、400字程度にしてください。

AIの回答 (例)

秋の親子イベント開催のご案内

秋の自然を感じながら、親子で一緒に楽しめるイベントを開催します。地域の皆さまと交流し、子どもたちの楽しい思い出づくりができれば幸いです。ぜひご参加ください。

📅 日時	10月12日(土) 9:30~12:00
📍 場所	〇〇小学校 校庭(雨天時:体育館)
👥 内容	自然観察・ゲームコーナー・親子での体験活動 など
📄 申込方法	下記の申込フォームからお申し込みください。
🕒 締切	9月30日(月)
🎒 持ち物	動きやすい服装・帽子・水筒・タオル
📞 問い合わせ	〇〇小学校 PTA事務局 TEL 000-000-0000 (平日 9:00~17:00)



→ そのまま使いやすい、伝わる案内文になる



ポイント:

相手・目的・必要情報・文体を示すと、AIは伝わりやすい文章を作りやすくなる。

悪い指示と良い指示 — AIの答えはここまで変わる

例3：議事録の整理

❌ 悪い指示（形式の指定がない）



先月の役員会の議事録を
まとめてください。

🤖 AIの回答（例）

- イベント準備について話合った
- 今後の予定を確認した
- 担当者の連携が必要

→ 要点や決定事項が分かりにくい

✅ 良い指示（観点・形式を指定）



以下の会議メモをもとに、PTA役員会の
議事録を作成してください。
「議題」「主な発言」「決定事項」
「今後の対応」「担当者」「期限」を
見出し付きで整理してください。

🤖 AIの回答（例）

議題	： 秋イベント準備
主な発言	： 会場は体育館案が有力／予算内で景品を準備したい
決定事項	： 10月12日に開催／景品は3000円以内
今後の対応	： 案内文の作成、備品確認
担当者	： 広報委員、会計担当
期限	： 案内文 9月30日／備品確認 10月5日

→ 誰が・何を・いつまでにするかが明確になる



ポイント：

見出しや整理の観点を示すと、AIは議事録を「記録」から「意思決定資料」へ近づけやすい。

長い文章を「伝わる広報誌」に変える

— 要約・見出し・構成・レイアウトを生成AIで整える —

長い文章も
見やすく、
わかりやすく!

元の文章 (長くてわかりにくい...)

PTA活動について

PTAは、保護者と教職員が協力し、子どもたちの健やかな成長を支えることを目的として活動しています。近年、社会環境の変化により、子どもたちを取り巻く課題は多様化しており、学校・家庭・地域が連携して取り組むことの重要性が高まっています。

本校のPTAでは、これまで、登下校の見守り活動、学習環境の整備、地域との交流活動などを行ってきました。今年度は、会員の皆さまからのご意見を踏まえ、活動の見直しと改善を進めています。今後も、子どもたちのより良い学びと育ちのために、保護者・教職員・地域の皆さまと協力し、持続可能なPTA活動を目指してまいります。

つきましては、今後の活動に関する皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

生成AIで整理・編集



伝えたい
ポイントを
短くまとめる

要約

伝えたいポイントを
短くまとめる

見出し

興味を引くタイトルや
小見出しを作る

構成

読みやすい順番に
整理する

レイアウト

図やアイコンを入れて
見やすくデザインする

伝わる広報誌に!

PTA だより

第5号

子どもたちの 笑顔のために

～学校・家庭・地域でつくる よりよい未来～



私たちの思い

PTAは、保護者・教職員・地域が協力し、子どもたちの健やかな成長を支えるために活動しています。多様化する社会の中で、学校・家庭・地域が連携することが、子どもたちのよりよい学びと育ちにつながります。



こんな活動をしています



登下校の見守り

子どもたちの
安全を地域と共に
見守っています。



学習環境の整備

よりよい学習環境
づくりを支援
しています。



地域との交流

地域の皆さまと
協力し、さまざまな
交流活動を行っています。

これからも、子どもたちのために

いただいたご意見をもとに、活動の見直しと改善を進め、持続可能なPTA活動を目指してまいります。今後も、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

たった5ステップで
すぐに使えます!



ChatGPT プラグイン



ChatPTAのインストール方法

PTAの活動を
もっとラクに!
もっと楽しく!



— PTA活動に特化した便利なプラグインで、会議資料やお知らせ文などを簡単に作成! —

1 ChatGPTに ログインする

まずは、ChatGPTに
ログインします。
(無料アカウントでも利用可能です)



ChatGPTへようこそ

ログイン

アカウントを作成



すでにアカウントをお持ち
の方は、ログインするだけ
でOKです。

2 GPTストアを 開く

画面左側のメニューから
「GPTを探す (GPTs)」を
クリックします。

ChatGPT

新しいチャット

GPTを探す

今日

PTAのお知らせ文作成

会議資料の作成

アンケートのたたき台



メニューが表示されない
場合は、左上のメニュー
(三)をクリックしてください。

3 ChatPTAを 検索する

検索バーに「ChatPTA」と
入力して検索します。

GPTを探す

ChatPTA

すべて 仕事効率化 教育 ライフスタイル



ChatPTA

PTA活動に特化した
文章作成・資料作成を支援
するGPTです。

作成者: 若杉祥太 ★ 4.8



「ChatPTA」という名前の
GPTを選んでください。
(アイコンが目印です)

4 インストール (追加)する

ChatPTAのページで
「チャットを開始」または
「このGPTを使う」をクリック
します。



ChatPTA

作成者: 若杉祥太

PTA活動に特化した文章作成・
資料作成を支援するGPTです。

チャットを開始



「チャットを開始」を
クリックすると、
自動的に追加されます。

5 使い始める

インストールが完了すると、
通常のチャット画面で
ChatPTAに質問できるよう
になります。

ChatPTA

PTA総会のお知らせ文を
作ってください。



承知しました。
PTA総会のお知らせ文の
例を作成しますね。

PTA総会のお知らせ文 (例)



左上のGPT名が「ChatPTA」
になっていれば、準備完了です!



より便利に使うための
ポイント



やりたいことを
具体的に伝える

例: 「保護者向けのお知らせ文を
丁寧な言葉で作成してください」



必要な情報を
できるだけ入れる

例: 「学校名を入れて」
「開催日を〇月〇日にして」



いろいろな場面で活用できる
お知らせ文・議事録・アンケート・
イベント案内・広報誌の原稿 など



個人情報には注意

児童生徒の氏名・写真など
個人が特定できる情報は
入力しないようにしましょう。

生成AIを使う際の注意点

生成AIは非常に便利ですが、次のような点に注意して、適切に活用することが重要です。

1 誤った情報を生成することがある



事実に基づかない内容や、**誤った情報**が含まれる可能性があります。

- ✓ 必ず複数の情報源で確認する
- ✓ 重要な情報は出典をチェックする

2 存在しない情報を作り出すことがある



もっともらしい内容でも、**実在しない情報**(ハルシネーション)を生成することがあります。

- ✓ 内容の真偽を必ず確認する
- ✓ 専門的な内容は信頼できる情報と照合する

3 最新の情報を反映していない場合がある



学習時点以降の出来事や変更された情報については、反映されていないことがあります。

- ✓ 情報の更新時期を意識する
- ✓ 最新のニュースや公式情報を別途確認する

4 情報の出典が不明確なことがある



どの情報をもとに生成されたものか、**出典**が示されない場合があります、**情報の信頼性**を確認する必要があります。

- ✓ 出典の有無を確認する
- ✓ 信頼できる情報かどうかを慎重に判断する



生成AIの回答は「**正しいとは限らない**」ことを理解し、**事実確認**や**情報源のチェック**を行った上で活用することが大切です。

便利だからこそ
知っておきたい

生成AIの危険性と対策

— 誤情報・個人情報・著作権・責任を理解し、安心して活用しましょう —

正しく理解して
上手に使える、
PTA活動の強い味方
になります！



1 誤情報のリスク

事実と異なる内容や、誤った情報が
含まれることがあります。



こんな場面で起こる

- お知らせ文や会議資料の作成
- イベント案の検討
- 法律や制度の内容を尋ねる など

対策

- ✓ 必ず複数の情報源で確認する
- ✓ 重要な情報は出典をチェックする

2 個人情報のリスク

入力した情報がAIの学習に使われ、
外部に漏れる可能性があります。



こんな場面で起こる

- 児童生徒の名前や写真の入力
- 保護者の連絡先や内部資料の入力
- 学校・地域の未公開情報の入力 など

対策

- ✓ 個人情報や機密情報は入力しない
- ✓ 匿名化・一般化した表現で利用する

3 著作権のリスク

他者の文章・画像・デザインに似た
内容を生成し、著作権を侵害する
可能性があります。



こんな場面で起こる

- チラシ・ポスター・校内資料の作成
- Web掲載用の画像や文章の生成
- 他者のアイデアに似た企画案 など

対策

- ✓ 既存の著作物に似ていないか確認する
- ✓ 必要に応じて出典を明記し、
オリジナルの表現に書き換える

4 責任のリスク

AIが出した内容をそのまま使うと、
誤りや不適切な表現の責任は
利用者にあります。



こんな場面で起こる

- 公式のお知らせとして公開
- SNSでの発信
- 組織としての利用ルールがない状態 など

対策

- ✓ 最終的な確認・判断は必ず人が行う
- ✓ 組織でのガイドラインを定め、
適切な利用方法を共有する



安全に活用するための 基本ルール



入力する情報を選ぶ
(個人情報を入力しない)



内容を確認・調整する
(事実確認・出典の確認)



引用・出典を意識する



最後は人が判断する



生成AIはとても便利な道具です。リスクを理解し、ルールを守って、PTA活動に安心して活用しましょう！

便利に使う、正しく使う、子どもと考える

— PTA・学校・家庭で大切にしたい生成AIとの付き合い方 —

使い方次第で
子どもたちの
学びと未来が広がります

1 便利に使う

— できることを知り、上手に活用 —

生成AIは、日常の仕事や学びを助けてくれる便利な道具です。まずはできることを知り、上手に活用しましょう。

こんな場面で役立ちます



文章のたたき台づくり

お知らせ文、会議資料、企画案 など



アイデア出し・企画検討

イベント案、活動の工夫 など



情報の整理・要約

長い文章の要点整理、比較表の作成 など



表現の磨き直し

相手に合わせた書き分け、わかりやすい文章に



時間を短縮し、
より大切な活動に
時間を使えます！

2 正しく使う

— ルールを守り、リスクに注意 —

便利だからこそ、誤情報・個人情報・著作権・責任などのリスクを理解し、ルールを守って利用することが大切です。

特に注意したいポイント



誤情報の可能性

必ず事実を確認する。
AIの回答を鵜呑みにしない。

正しい情報が
確認しよう



個人情報の保護

氏名・住所・顔写真・成績・会議資料など
機密性の高い情報は入力しない。

個人情報は
入力しない



著作権の尊重

他者の文章・画像を無断で利用しない。
生成物の利用ルールを確認する。

引用ルールを
守ろう



責任の所在

最終的な判断・確認は必ず人が行う。
不適切な利用は信用の低下につながる。

最後は
人が確認



便利さとリスクの両方を知り、
ルールを守って使いましょう。

3 子どもと考える

— 一緒に学び、よりよい使い方を —

子どもたちが生成AIを正しく理解し、主体的に活用できるよう、学校・家庭・地域が連携して一緒に考えることが大切です。

子どもと話し合いたいこと(例)



どんなときに使うと役立つ？

学習・調べ物・創作活動 など



どんな情報を入力してよい？よくない？

個人情報や他者の情報について



AIの答えをどのように判断する？

本当かどうか、どこで確認するか



自分の考えやアイデアをどう活かす？

AIは道具、主体は自分自身であること



家庭でも
学校でも地域でも
AIについて
話してみよう！



生成AIは、学校・家庭・地域・PTAがつながり、正しく活用することで、
子どもたちのよりよい学びと未来を支える力になります。



学校



家庭



地域・PTA

明日から始めるPTA生成AI活用

— まず1つ、AIに任せてみる —

難しく考えず
できることから
始めましょう!



1 やりたいことを決める — 小さな一歩でOK —

まずは、日々のPTA活動の中で
「時間がかかっていること」
「負担を減らしたいこと」から
1つ選んでみましょう。

- ・お知らせ文の作成
- ・会議の資料づくり
- ・イベントの企画
- ・アンケートの集計など…

2 生成AIに指示してみる — 具体的に伝えるのがコツ —

指示の例 (プロンプト)

小学校PTAの保護者向けに、
秋の清掃活動の案内文を
作成してください。
日時：10月12日(日) 9:00～11:00
場所：学校の校庭
対象：全学年の保護者
持ち物：軍手・飲み物
やさしく、丁寧な文章をお願いします。



3 AIの回答を確認・調整 — そのままでは使わない —

AIの回答をもとに、内容を確認し、
学校や地域の実情に合わせて
修正しましょう。

確認のポイント

- ✓ 日時・場所・対象などの事実が正しいか
- ✓ 表現が適切で、誤解がないか
- ✓ 学校や地域のルールに合っているか
- ✓ 必要に応じて、言葉やデザインを調整する



この表現を
もう少しやさしく
してください。

4 活動に活用する — 効果を感じて、次に広げる —

完成した文章や資料を実際の
PTA活動で使ってみましょう。
効果を感じたら、他の活動にも
少しずつ広げていきましょう。

活用例

-  保護者向けお知らせ文
-  会議の議事案・資料作成
-  イベントの企画アイデア
-  アンケートの集計・分析
-  広報誌の原稿・デザイン案



まずは1つ、AIに任せてみましょう。

小さな成功体験が、PTA活動の効率化と、子どもたちのよりよい学びと育ちにつながります。

最初におすすめのタスク

- ✓ お知らせ文の作成
- ✓ イベントの企画アイデア出し
- ✓ 会議の議事案づくり
- ✓ アンケートの項目案作成

AIに任せること」と「人がやること」

生成AIは、すべてを代わりにやるものではありません。得意なことはAIに任せ、人にしかできないことに力を注ぎましょう。



AIに任せること

大量の情報処理や、定型的な作業が得意です。



文章の作成・たたき台作成

案内文・お知らせ・議事録の下書き など



情報の整理・要約

長い資料の要点整理・比較表の作成 など



資料・チラシの作成

デザイン案・キャッチコピーの作成 など



スケジュール調整の補助

候補日の提示・アンケートの集計 など



データの集計・分析

アンケート結果の集計・グラフ化 など



人がやること

判断・調整・共感など、人にしかできないことが重要です。



方針や企画の検討・意思決定

子どもたちのために何をするかを考える



関係者とのコミュニケーション・調整

学校・保護者・地域との対話や合意形成



現場の状況に応じた判断

状況・背景を理解した柔軟な対応



共感・思いやりに基づく支援

子ども・保護者の気持ちに寄り添う



新しい取り組みの発想・実行

地域に合ったPTA活動の創造



それぞれの
強みを
活かして
協力する

生成AIは「人の仕事を奪うもの」ではなく、
「人にしかできない大切な仕事に、より多くの時間を使う」ためのパートナーです。



AIによって人間社会はようになるのか

— 便利さが広がる一方で、光と影の両面を考える —



光 AIがもたらす可能性



くらしの利便性向上

家事・移動・手続きの効率化



医療・福祉の進化

診断支援・見守り・個別支援



学びの広がり

一人ひとりに合った学習支援



仕事の高度化

単純作業を減らし、
人にしかできない仕事へ



新しい創造と産業

新サービス・新しい働き方の創出



大切なのは、
人が主体となって
AIを活かすこと



影 向き合うべき課題



雇用の変化

仕事の置き換えと学び直しの必要



誤情報・操作

もっともらしい誤りや世論誘導



個人情報・監視

データ利用の拡大とプライバシーの課題



格差の拡大

使える人と使えない人の差



判断力の低下・依存

考える力や対話の弱まり



AIの未来は、技術そのものよりも「**どう使うか**」で決まります。

私たち一人ひとりが正しく理解し、話し合い、よりよい社会のために活用していくことが大切です。